

助動詞(「未来形」含む)

助動詞 = 読んで字のごとく(字が表しているとおりに)、「動詞を助ける」役割の語。

・ユキは本を読む。

これは、助動詞が入っていない、ごく普通の文。「読む」という動詞が使われていますね。

「動詞を助ける」というのは…

- ・ユキは本を読…むことができる。
 - ・ユキは本を読…まなければならない。
 - ・ユキは本を読…むだろう。
 - ・ユキは本を読…むつもりだ。
 - ・ユキは本を読…むべきだ。
- などなど。

「読む」という動詞に、少しずつ他の意味が付け足されていますね。

この、少し付け足される部分の意味を表すことができるのが、**助動詞**という語です(^o^)

★ 初級～中級レベル(中学校で習うぐらい)の助動詞 ★

can キャン ～できる

must マスト ～しなければならない

will ウィル ～するだろう、～するつもりだ ←「未来形」の文を作る時に使われる助動詞。

may メイ ～してもよい

should シュドウ ～するべきだ

shall シャル ※ Shall I ～?、Shall we ～?という形で用いられる。

★ それぞれ、過去形になったりいろいろありますが、詳しくは「助動詞 dictionary」にて ★

では、これらの助動詞を使って、英文を作ってみましょう♪

英語の文は、基本、

主語 + 動詞 (+ その他の部分) という語順になりますが、

助動詞は、↓ここに入ります。

主語 + 助動詞 + 動詞 (+ その他の部分)

↑ここね！ ここ！ 主語と動詞の間に割り込む感じね！

ということで、この形を覚えておこう(^o^)

主語 + 助動詞 + 動詞の原形 (+ その他の部分)

↑これも重要！この動詞は必ず原形ね。

☆疑問文や否定文を作る時は、助動詞の文は「be 動詞の文」と同じ仲間です。

つまり、どういう形になるかな？ 疑問文・否定文の解説プリント、練習問題で確認してみてね！